

【高等学校用】

令和5年度学校評価 計画

学校名		佐賀県立鳥栖商業高等学校	
1 前年度 評価結果の概要	・総合評価すると、それぞれの項目の数値目標を概ね達成することができた。次年度も、職員の資質向上を図るとともに、保護者、関係機関と連携を密にし、個の課題に迫った授業を充実させ必要とされる唯一無二の誇り高き学校づくりに努める。また、本校の魅力を学校公式インスタグラムや学校ホームページ等で発信していく。		
2 学校教育目標	心身ともに健康で逞しく、「志学・友愛・創造」の精神を重んじ、専門的知識と技術の習得を基に社会に貢献し愛される人材を育成する。		
3 本年度の重点目標	①心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり ②学習意欲を高め、確かな学力習得と進路現実を図る ③地域に貢献できる人材育成を図る		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○言語活動を充実させ、主体的な学びを重視した授業を推進	○「話し合いや発表などをおして学習への意欲が高まった」と答えた生徒85%以上	・HR時にスピーチを行うとともに、読書の習慣化を図る。 ・各教科で主体的対話的で深い学びを目指した授業研究会を実施する。
	○学科を超えた授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高め、確かな学力を育成	○「意味を持った言動を心掛ける」と答える生徒(3年生)80%以上 ○「資格取得をおして達成感を感じた」と答えた生徒(1・2年生)85%以上	・「課題研究」を通して、学科間の垣根を超えた創造性を身につけさせる。 ・TT、ICTの活用、習熟度別指導により、個に対応した指導を行う。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「高校生らしい『心遣い』の発言や他者に対して思いやりや感謝の心をもって接することができる」と答えた生徒85%以上	・「情報処理」および「LHR」において、情報モラル教育や人権教育を実施する。 ・人権教育に関する講演会を実施する。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルの周知・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒85%以上	・郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した授業や特別活動を行う。 ・地元企業の魅力を伝えるキャリア教育、就職活動の支援を行う。
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・交通講話を外部講師で年1回、職員で年3回(各学期ごと)に実施する。 ・生徒会と協力して、交通安全運動を毎月1回行う。
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒95%以上	・食育に関するアンケートの実施(2回) ・食に関する講演会の実施
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・年休取得を推進する。 ・定時退勤日及び閉庁日を設定する。 ・時間外の多い職員に対し、業務内容の確認と指導を行う。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり	○心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり	○健康に関するアンケートで「心身ともに健康である」と回答する生徒85%以上。	・保健だよりを用いて、心と体の健康について情報発信をする。 ・子どもたちが興味を持ちそうな掲示物を作成し保健室や教室に掲示する。
○学習意欲を高め、確かな学力習得と進路実現	○学習意欲を高める授業づくりと指導方法の改善 ○生徒・保護者が希望する進路の実現	○授業評価アンケート項目「授業に対する準備が万全であり先生の熱意が感じられる授業である。」で肯定的な回答90%以上。 ○生徒・保護者が希望する進路実現100%。(3年生)	・各教科で主体的対話的で深い学びを目指した授業研究会を実施する。 ・地元企業への訪問や情報交換を重点的に行う。 ・四年制大学等進学希望者に進学補習を実施する。
★地域に貢献できる人材育成	★商業教育のトップランナーとして地域に貢献できる人材育成を図る ★異世代交流を率先して行う人材育成を図る	★「地域課題の解決に向け、主体的に取り組んでいる」と答える生徒(3年生)80%以上 ★「インスタグラムやホームページ等で本校の魅力を情報発信している。」と答える保護者90%以上 ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%	・「課題研究」の共通テーマを「地域×商業」とし、学科・コースの専門分野を生かした調査研究や作品制作活動を行う。 ・全職員と生徒の広報委員による情報収集を行い、定期的に発信する。 ・各人の専門性を活かし、小中学生との交流事業を実施する。
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり			
5 総合評価・次年度への展望	:		